

資料 1

日時 平成29年10月24日
午後7時～

場所 藪田コミュニティセンター

H

2

9

藪

田

地

区



市長のまちづくり

ふれあいトーク

事務担当

〒935-8686（住所記載不要）

氷見市 企画政策課 広報広聴担当

TEL74-8012 Fax74-8062

E-mail:kouhou@city.himi.lg.jp

昨年度のふれあいトークの 対応状況について

対応済

- 299-街灯設置
- 301-藪田コミュニティセンターにAED設置
- 304-分かりやすい組織名称
- 305-カーブミラーの移設

29年度内

可能

30年度以降

- 292,293-国道160号の改修について
- 297-防災備蓄倉庫整備
- 298-藪田トンネル付近の落石対策
- 300-垂姫橋の取り扱い
- 303-スクールバスの運行

未定

参考意見

294,295-釣屋魚問屋の冷蔵庫の騒音・臭い対策、296-釣屋魚問屋の冷蔵庫の対応
302-イノシシ檻の設置、306-地域づくり協議会への認定

市政の概要

「住みたい街」・「働きたい街」・「育てたい街」の
3つの氷見元気プロジェクト

I 住みたい街 ～いのちと暮らしを守る～

II 働きたい街
～働く場所の創出で元気な氷見市へ～

III 育てたい街 ～ストップ・ザ・少子化～

I 住みたい街 ～いのちと暮らしを守る～ ①

拡充

グランドデザイン調査検討事業

予算額:954.2万円



JR氷見駅からひみ番屋街まで、市街地全体のグランドデザインを描き、観光客誘致、防災、文化情報発信など、4つの公共空地の利活用方針の策定及び漁業文化交流センターの活用について検討します。

I 住みたい街 ～いのちと暮らしを守る～ ②

新規

都市計画再構築事業 (都市計画マスタープランの見直し等)

予算額:1,341.6万円

既存の都市計画マスタープラン(平成17年作成)を見直し、まちづくりの目標や数値指標を達成するために必要な事業を記載した都市再生整備計画を作成します。

※都市計画マスタープランとは・・・

地域の特性を踏まえたまちの将来像やまちづくりの方針等を具体的に示し、無秩序な開発の抑制や適切な土地利用の誘導など計画的な都市の形成を図るために定めるものです。

I 住みたい街 ～いのちと暮らしを守る～ ③

新規

地域活力施設整備支援事業

予算額:1,000万円



自治会が自主的、主体的に実施する小規模な道路・水路や公園などの社会資本の整備等についての必要な経費を補助します。

I 住みたい街 ～いのちと暮らしを守る～ ④

新規

がんセンター整備予定地での埋蔵文化財
試掘調査費【病院事業会計】

予算額:360万円



金沢医科大学氷見市民病院でのPET-CT導入によるがんセンター整備に向け、埋蔵文化財試掘調査を行います。

I 住みたい街 ～いのちと暮らしを守る～ ⑤

[その他主な事業]

※金額は予算額

新規

ぶり奨学プログラム事業 175.1万円
(ぶり奨学交流事業の開催)

拡充

防災対策事業 2,227.1万円
(防災ラジオの整備、津波ハザードマップの作成等)

拡充

鳥獣被害防止対策事業 1,411.7万円
(イノシシによる掘り起こし被害対策の調査研究等)

拡充

包括的支援事業【介護保険】 260.6万円
(生活支援コーディネーターの設置)

II 働きたい街 ～働く場所の創出で元気な氷見市へ～ ①

新規

世界農業遺産調査検討事業

予算額:572.3万円

400年の歴史を誇る定置網や、国指定天然記念物のイタセンパラと十二町潟のオニバスなど希少な動植物と共生する農業資産等について、日本農業遺産及び世界農業遺産の認定を受けるための準備に必要な調査・検討を行います。

Ⅱ 働きたい街 ～働く場所の創出で元気な氷見市へ～ ②

拡充 魚食文化リーディング事業

予算額: 2,769.1万円



市内の食関連事業者(魚食だけでなく食関連全般を対象を拡大)の売上向上を目的として行う新商品の開発実験や販路拡大等を実施しています。

(国の地方創生推進交付金事業の活用)

Ⅱ 働きたい街 ～働く場所の創出で元気な氷見市へ～ ③

新規 漁業文化交流センター管理運営事業

(ひみ漁業交流館魚々座を改称)

予算額: 1,115万円



氷見の伝統ある漁村文化を伝承・展示し、世界農業遺産の認定に向けた情報発信拠点として、氷見市漁業文化交流センターを平成29年7月14日から開館しています。

Ⅱ 働きたい街 ～働く場所の創出で元気な氷見市へ～ ④

[その他主な事業]

※金額は予算額

拡充

まんがのまちづくり推進事業 283.1万円
(潮風ギャラリー開館10周年記念イベントの開催)

拡充

観光広報強化事業 738.8万円
(テレビ番組や雑誌などのマスメディアでの発信強化)

継続

商店街賑わい創出事業 200.1万円
(商店街の賑わい創出に取り組む団体を支援や賑わいを支援するタウンマネジャーの招へい)

Ⅲ 育てたい街 ～ストップ・ザ・少子化～ ①

第2子保育料無料化関連予算

拡充

民間保育所等施設給付事業
予算額:2,500.7万円

多子世帯子育て支援事業
予算額:345.6万円



保育所や幼稚園、認定こども園に入所する1歳以上の第2子の保育料を7月から無料化しています。

Ⅲ 育てたい街 ～ストップ・ザ・少子化～ ②

第2子保育料無料化関連予算

新規

家庭で子育て応援金給付事業

予算額: 1,260万円



満1歳から満3歳になるまでの間、第2子以降の児童を保育所や認定こども園に預けずに、家庭で保育される世帯に対し、対象児童1人につき月額2万円の「家庭で子育て応援金」を支給します。

Ⅲ 育てたい街 ～ストップ・ザ・少子化～ ③

拡充

放課後児童対策事業

予算額: 186.8万円



学童保育の充実を図るため、氷見児童育成クラブ(いきいき元気館)における学童保育時間を22時まで延長しています。

Ⅲ 育てたい街 ～ストップ・ザ・少子化～ ④

拡充

小中学校ICT環境整備事業

予算額: 3,050.3万円



小学校・中学校の学習環境向上を図るため、全小中学校普通教室及び特別支援学級への電子黒板整備、及び全小中学校それぞれ1クラス分のタブレットパソコンを整備します。

Ⅲ 育てたい街 ～ストップ・ザ・少子化～ ⑤

[その他主な事業]

※金額は予算額

新規

子どもの未来応援事業 413.5万円

(子どもやその家庭の実態調査及び子ども・子育て支援事業計画の改定)

新規

子どもほっとサロン事業 60万円

(「こども食堂」3か所への助成)

拡充

子育て世代包括支援センター(日本版ネウボラ)準備事業 286万円

新規

都市公園活性化事業 917.8万円

(氷見運動公園の長寿命化、再整備に向けた基本設計)

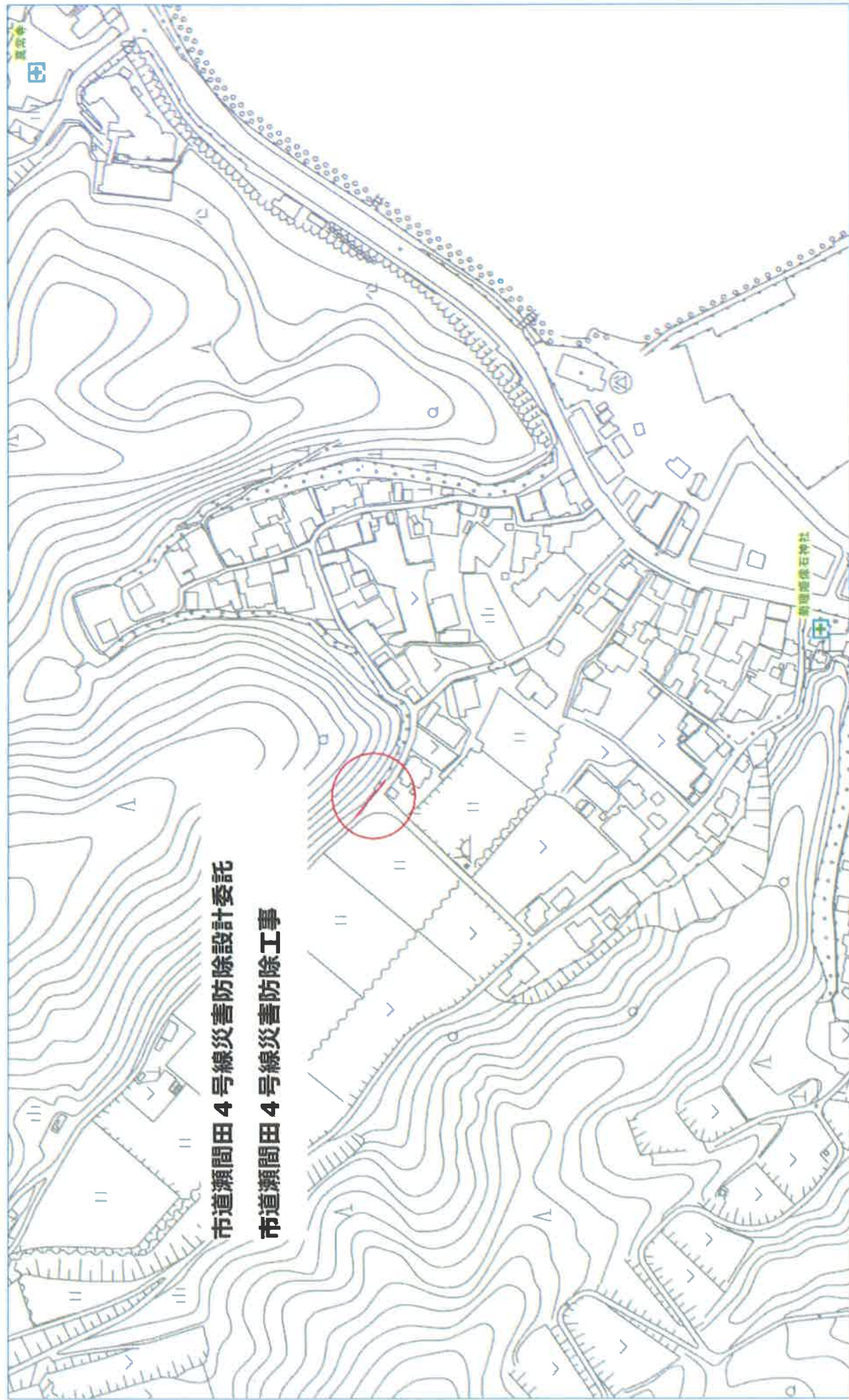
藪田地区の事業概要

■ 地区の工事箇所

4

実施年度	工事名	工事(業務)場所	契約(予定)日	完成(予定)日	契約金額または予算額(円)
H29	藪田小学校跡地整備工事	藪田	H29.10.19	H29.12.15	955,800
H29	旧藪田小学校にあったスズカケの木の移転工事	海峰小学校敷地及び藪田児童公園	H29.11月予定	H30.3月予定	200,000
H29	市道円山線側溝修繕	泊	H29.5.26	H29.7.31	386,640
H29	市道瀬間田4号線災害防除設計委託	泊	H29.10月下旬	H29.12.15	984,200
H29	市道瀬間田4号線災害防除工事	泊	H30.1月下旬	H30.3.16	4,000,000
H29	藪田漁港(泊地区)機能保全(その3)工事	泊	H29.10月	H30.1.15	18,630,000





菟田漁港(泊地区)機能保全(その3)工事



実施年度	実施事業名	具体的な内容及び箇所	補助等金額 (円)	担当課	備考
H29	健康ウォーキング	地区住民を対象としたウォーキング教室を実施(10月10日) 雨晴海岸周辺	5,000	健康課	
H29	健康教室	地域の健康づくりの意識を高め実践に結びつけることを目的に講義、実践を行なう。(10月18日 家でも手軽にできる運動の実践)	5,000	健康課	
H29	健康づくり料理教室	食生活改善推進員から住民へ生活習慣病予防の食事についての講習会を開催する(11月20日泊コミュニティセンター)	10,000	健康課	
H29	介護予防事業 高齢者レクリエーション教室	高齢者を対象にレクリエーション教室を実施することで、閉じこもりや要介護状態になることを予防する。(6月10日泊・藪田)	4,200	健康課	
H29	介護予防事業 高齢者元気ハツラツ教室	高齢者がいきいきと自立して生活できるように、食生活改善に関する知識の普及を図る。(2月10日)	3,000	健康課	
H29	健診PR活動(旗立て)	地区内に健診PRの旗をたて、住民健診の受診勧奨を行なう(7~9月)	2,000	健康課	
H29	幼児食らくらくメニュー講座	乳幼児とその保護者を対象に教室を開催し、食生活等の改善を図る。(10月26日泊コミュニティセンター)	7,000	健康課	

実施年度	実施事業名	具体的な内容及び箇所	補助等金額 (円)	担当課	備考
H29	多面的機能支払交付金	農地保全活動(草刈り・泥上げ等) 農村環境保全活動(花壇の造成等)へ支援 (藪田 1,210,855円)	1,210,855	農林畜産課	
H29	中山間地域等直接支払	農業施設の整備(農道、水路等の補修) への支援 (小杉 750,448円)	750,448	農林畜産課	
H29	地域コミュニティ活性化事業	みそ作り教室	39,600	藪田コミュニティセンター	
H29	地域コミュニティ活性化事業	さつまいも作り体験	23,800	藪田コミュニティセンター	
H29	地域コミュニティ活性化事業	環境美化活動	31,700	藪田コミュニティセンター	

現地調査

藪田地区自治会

- ・垂姫川崩落箇所2カ所

小杉自治振興会

- ・小杉地内 急傾斜地崩壊箇所2カ所

泊地区自治会

- ・浜谷敦夫宅裏の排水
- ・津波避難経路の新設箇所
- ・瀬間田地内市道 急カーブ箇所など

藪田地区事前要望（3地区全体）

要望内容	回答等	担当課及び 担当者
<p>「国道160号(藪田児童公園～脇方橋間)の改修」 藪田トンネル内の拡幅、急カーブ個所の解消・見通しの確保、自転車・歩行者道の整備、毎年繰り返す雨量規制や崖の崩落などによる通行止め問題の解消等、地区住民の生活に密着した道路として、安全性と利便性、快適性の確保、更には、災害など緊急時対応などがしっかりと実現されるよう根本的な対策をお願いするものです。</p>	<p>国道160号の整備につきましては、7月5日に地元の方々に富山河川国道事務所へ要望いただき、ありがとうございました。市といたしましても、6月7日及び7月3日に富山河川国道事務所に、また8月4日には北陸地方整備局に要望しています。現在施工中の泊地区自転車歩行者道の整備促進のほか、連続雨量による通行規制の解除・緩和につながる防災事業の推進について、今後も引き続き国土交通省に要望してまいります。</p>	<p>建設課 能越道等事業 調整・用地担 当：高田 74-8091</p>
<p>「急傾斜擁壁部の破損個所の補修工事の実施」 氷見土木事務所、氷見市など災害や事故等が発生する前に、要望事項の対応、実施をお願いいたします。</p>	<p>写真の一部の箇所については、県で補修を行い完了しています。 今年度から来年度にかけて、県で急傾斜施設の点検を行ない、施設の健全度を調査します。調査の結果を踏まえ、整備計画を作成して、優先度の高い箇所から計画的に補修工事を行うと聞いています。</p>	<p>建設課 治水・治山担 当：椀澤 30-7071</p>

要望内容	回答等	担当課及び 担当者
<p>「平成30年度コミュニティ助成事業申請への支援」 防災資機材保管庫の「平成30年度コミュニティ助成事業」採択に向けて、市当局からの更なる支援、バックアップをしていただきますようお願いいたします。</p>	<p>宝くじの社会貢献広報事業として実施されるこのコミュニティ助成事業は、助成団体である一般財団法人自治総合センターへ都道府県知事を経由して申請書が提出され、助成の対象及び助成額は自治総合センターが決定することとなっております。昨年度も平成29年度事業分として要望しましたが、交付の決定が受けられなかったため、再度平成30年度事業として申請をしています。市としましても、強く要望していきます。</p>	<p>地域防災室： 小野 74-8021</p>

要望内容	回答等	担当課及び 担当者
<p>「有害鳥獣捕獲依頼事業への対応」 イノシシ被害対策として「捕獲を目的とした檻の導入」に当たり、前年度に引き続き、市当局のご支援をよろしく願います。なお、餌付けなど捕獲に必要なことについては地区として協力いたします。</p>	<p>今年度のイノシシの捕獲は、現在、昨年度を上回り1100頭を超えておりますが、減少する様子がみられず、全国的にみても捕獲対策だけでは被害を減少させることはできていません。このことから、イノシシを集落に近づけない次の取り組みをお願いいたします。</p> <p>(1) 野生動物の餌となる放任果樹などの伐採や全量収穫管理、身を隠せる藪の刈払いをする。</p> <p>(2) 電気柵などの侵入防止柵を適正に設置して管理し、野性動物に農作物を与えない。</p> <p>捕獲檻については、各地区から要望が多く、今年度の新設は困難な状況であり、地区の捕獲状況も参考にして次年度に必要な捕獲檻の設置数を検討してまいります。</p>	<p>農林畜産課 農業畜産・いのしし等担当：高野 74-8086</p>

菟田地区事前要望（泊地区自治会）

要望内容	回答等	担当課及び 担当者
<p>「瀬間田地内市道バイパスの早期実現」 1)建設課との話し合いの中では、瀬間田地内市道の拡幅、急カーブ箇所の改修は現時点では実現が困難なことから、バイパスを新設していただき、利便性に富む市道へと改善していただくことを強く要望いたします。 2)バイパスの新設に当たり、地権者の同意を得ています。早期の実現に向けての対応、支援をお願いいたします。</p>	<p>ご要望の路線につきましては、5月の地区要望においてお聞きしており、地権者の方々の同意の了承からも地区の熱意を感じています。 市内の道路拡幅要望箇所は、数多くお聞きしており、市といたしましても緊急度や重要性等を判断しながら、順次事業化を進めています。 緊急車両等の進入には、まずは入り口の国道160号からの拡幅改良が必要と判断しており、引き続き、皆様とともにご要望について、検討していきたいと考えています。</p>	<p>建設課 市道整備担当：宮下 74-8074</p>

要望内容	回答等	担当課及び 担当者
<p>「津波避難経路の新設、整備」 他地区でも同じような問題がある個所があるかと思いますが、県や国とも連携して、地区内での津波避難経路の新設、整備をお願いいたします。</p>	<p>富山県が2月に公表しました津波シミュレーション調査結果を踏まえ、市では今年度津波避難計画を作成することとしています。その過程で津波避難困難区域を抽出しますので、津波避難困難区域で津波退避経路の確保が必要となる場所が確認された場合には関係部署と調整し、今後の対策について検討していきます。</p>	<p>地域防災室： 小野 74-8021</p>
<p>「浜谷宅裏の排水処理対策」について 新築時には想定していなかった問題であり、排水路の設置など、行政からの支援をお願いいたします。</p>	<p>まずは、現在の排水系統に問題があると考えていますので、排水系統の見直しに向けて、浜谷さん及び地元の皆様と相談させていただきたいと考えています。</p>	<p>建設課 治水・治山担当：梶澤 30-7071</p>

要望内容	回答等	担当課及び 担当者
<p>「市道円山線及び防火用水地の土地所有者への非課税処置及び漁港敷地使用料免除の実施」</p> <p>1. 具体的な要望事項</p> <p>1) 市道円山線については公衆用道路になって久しく、早急に地権者に対して、非課税化の処置を取って頂きますよう要望します。北泊の防火用水地の土地についても、同様の対応をお願いいたします。さらには、出来るものなら、土地の提供をして頂いた昭和55年に遡って税の返還をお願いいたします。</p> <p>2) また、地区内に、類似のケースで納税の対象になっている個所が無いかについても併せて、調査をお願いいたします。</p>	<p>市道円山線拡幅道路敷地及び防火水槽となった土地の非課税措置のご要望につきましては、まずは土地を提供された当時、提供していただいた方々と自治会とのお約束の内容について、年貢の支払い根拠や面積及び図面等による算定根拠をご提示していただくことが必要となります。適用については、市のこれまでの取り扱いと同様にいただいた根拠を踏まえて、協議の中で判断させていただくことになります。</p>	<p>建設課 市道整備担当：宮下 74-8074</p> <p>警防課：正保 30-7112</p> <p>税務課 資産税担当：長谷川 74-8045</p>

要望内容	回答等	担当課及び 担当者
<p>2. その他関連事項について</p> <p>1) 地区内のコミュニティーセンターに関してですが、建設以来、「漁港敷地使用料」として約3.3万円／年を市に支払っております。既に累計で約80万円となっています。</p> <p>2) 地区の状況について述べますと、今年度までに、コミュニティーセンター維持管理費として、既に約1,000万円もの費用(内訳：約25万円／年の経費、平成19年の能登地震による損害対応、塩害対応、など)を費やしています。更に、高齢化と空き家の進行などにより、「漁港敷地使用料」を今後とも継続して支払っていくことが大きな負担になってくることから、「漁港敷地使用料」の支払い免除を要望いたします。</p>	<p>「漁港敷地使用料」の支払免除につきましては、対象となる区画が海岸保全区域であることから、氷見市海岸保全区域占用料条例で定められていますとおり、占用料をご負担願いたいと存じます。漁業者の皆様にも、倉庫等を設置する場合は占用料をご負担いただいております。受益者負担の原則から、貴会だけ占用料を免除することには難しいものがございます。なお、同条例第4条に占用料減免の定めがありますが、現状ではこの条件に合致</p>	<p>水産振興課 水産業振興担当：竹口 74-8102</p>

要望内容	回答等	担当課及び 担当者
<p>「支援事業における補助金の見直しへの対応」</p> <p>1) 泊地区の予算配分でウエイトが高いのは「土木費」に分類されている費用です。市道への崖崩れ、市道への雑木の被さり、豪雨時の雨水の溢れ出し(こういった問題は中山地区固有の問題であって、市街地地区ではない問題です)、など、地元では手を付けられず、繰り返し発生している問題があります。改修や補修に当たっては市の補助金も出ますが、補助金には限度があり、費用項目によっては対象にならないなど、どうしても地元で負担せざるを得なくなり、必然的に負荷が大きくなっています。</p> <p>2) 具体的には、「道路整備地域支援事業」、「水路整備地域支援事業」です。道路や水路の維持の為、或いは、住民からの要望事項が多くあり、自治会として対応せざるを得ません。</p> <p>3) 市当局に於いては、地区に密着し、地区の課題に即応できる施策を講じて頂きたい。費用項目の見直し、補助金限度の見直し、などをお願いいたします。</p>	<p>「道路整備地域支援事業」、「水路整備地域支援事業」については、地域が自主的・主体的に実施する事業に対して支援するものあり、現時点では見直す予定はありません。また、市では今年度から、自治会が地域内の道路、河川、水路、公園、広場、交通安全施設、観光施設及び土地改良施設などの公共的な施設等の新設、改良及び修繕を計画的に実施する事業について市が財政的、技術的支援を行う「地域活力施設整備支援事業」を創設しています。実施に必要な額の1/2、1地区500千円を限度として補助しています。現時点で、補助申請書をまた受け付けていますので、ご検討ください。</p>	<p>建設課 道の管理:河端 30-7070</p> <p>企画政策課 地域協働推進 班:舩田 74-8013</p>

菟田地区事前要望 (菟田自治会)

要望内容	回答等	担当課及び 担当者
<p>「垂姫橋の利用について」</p> <p>垂姫橋の架け替えが必要ないと判断するならば、市としての安全性の確認と証明(耐震・耐久性に問題がなく通行可能)をお願いしたい。垂姫橋は地区の重要な通行箇所であり、安心して地区住民が利用できるような具体的な対策をお願いします。</p>	<p>重量制限(2t)により交通は開放しておりますが、根本的な改良は難しい状況です。今年度中に橋梁点検が完了する予定にしており、年度内にその結果について報告を行いたいと考えています。</p>	<p>建設課 道の管理:河端 30-7070</p>
<p>「イノシシ対策について」</p> <p>住民が安心して生活できるようにしていただきたい。</p> <p>例①イノシシが住民の生活エリアに入らない対策を講じる。</p> <p>例②イノシシを減らす対策…捕獲檻を増やす・それ以外の対策</p>	<p>イノシシの活動の大半は餌を求めての行動といわれおり、集落周辺に野生動物の餌となる柿や栗などの放任果樹や二番穂があると出没しやすくなります。そのため、餌となるものの除去や、電気柵等により農作物を守り、集落周辺が野生動物の餌場にならないようお願いいたします。また、イノシシが安心して身を隠せる藪の刈払いなどを地域ぐるみで取り組みいただくようお願いいたします。</p> <p>集落周辺でイノシシを見かけて逃げない場合は、バケツをたたいて大きな音を出すなどをして追い払ってください。</p> <p>捕獲檻については、各地区から要望が多く、今年度の新設は困難な状況であり、地区の捕獲状況も参考にして次年度に必要な捕獲檻の設置数を検討してまいります。</p>	<p>農林畜産課 農業畜産・いのしし等担当:高野 74-8086</p>

要望内容	回答等	担当課及び 担当者
「垂姫川の補修について」 垂姫川2カ所の崩落箇所早期復旧	平成30年度予算で補修する予定としています。	建設課 治水・治山担 当: 椀澤 30-7071
「八幡トンネル阿尾側崩落箇所について」 更なる崩れ防止と崩落箇所の早期復旧。	現在、L型擁壁を並べて土砂等が崩れても 車道へ出ないように対策を行っており、道 幅が更に狭くなり、大変ご迷惑をおかけして おります。 平成30年度は、市道藪田農協線の落石対 策工事の実施を予定していますので、当該 箇所については、平成31年度に対策工事を 実施する予定にしています。	建設課 道の管理: 河 端 30-7070

要望内容	回答等	担当課及び 担当者
「旧藪田小跡地売却時の地元への還元について」 地元住民との約束を速やかに実行していただきたい。	具体的な要望についてお願いしており、ご 意見をお聞かせください。	財務課 財産管理担 当: 中川 74-8035

藪田地区事前要望（小杉自治振興会）

要望内容	回答等	担当課及び 担当者
<p>「急傾斜地崩壊対策関連事業について」</p> <p>①市道を挟む住宅地向側の崖斜面が少しずつ崩れていきます。以前にも落石があり道路まで出たこともあり、近隣住民は道路や住宅への落石被害を心配しています。しかし、道路を挟んでいるためか、急傾斜地としての危険エリアになっていないためこのまま対策が行われず取り残されると危惧しています。</p> <p>②急傾斜地崩壊対策工事が終わった箇所については、施工から35年以上が経過し、重力式擁壁にも大きなクラックが生じ土砂の崩落を食い止めることが出来るのか心配な状況です。</p> <p>また、地震によって発生する土砂崩れによっては擁壁自体が倒壊する可能性も危惧されます。</p> <p>③施工済み区域内（法枠内）に雑木が茂り、非常に大きくなっている場所があり、直下の家では、台風の日など雑木が倒木、転落してくるのではないかと不安に思っています。</p> <p>※その他にも、排水路の破損など様々な問題があります。急傾斜対策は県事業であり、氷見土木事務所にもお願いをしていますが、市としても突態の確認と対応について御検討をお願いします。</p>	<p>①平成30年度に急傾斜地崩壊危険区域の指定を県へ申請するための詳細調査を行う予算を措置して、申請を行なう予定としています。急傾斜地崩壊危険区域の指定を受けましたら、県の補助を受けながら計画的に対策工事を進めていきたいと考えています。</p> <p>②③県でも、状況は把握されており、県では今年度から来年度にかけて急傾斜施設の点検を行ない、施設の健全度を調査することとしています。その調査の結果を踏まえ整備計画を作成して、優先度の高い箇所から計画的に対応していくとのことです。市でも引き続き要望をしていきます。</p>	<p>建設課 治水・治山担当：椀澤 30-7071</p>

要望内容	回答等	担当課及び 担当者
<p>「道路の改修について」</p> <p>①舗装補修（剥離、亀裂、傾斜等）について</p> <p>舗装面に剥離や亀裂が生じ、そこから穴が広がっています。また市道藪の腰線の、大石宗雄宅裏側（L=12m、W=2.4m）は重なる舗装補修で路面が片側に極端に傾斜が強く（道路側溝に向かって、50cmで10cm下がっている）、降雪時には側溝側の雪が溶け易いことから、更に傾斜が強くなり、道路の勾配とあいまって車が側溝へ落ちる事故が多発しています。</p> <p>路面の補修と併せて道路側溝の整備をすることで、道路の有効幅員も広がるため、両面での改修をお願いいたします。</p> <p>②迂回路の整備（舗装）について</p> <p>地域内の道路が狭いため、緊急車両が集落の奥まで入ることが出来ず、救急時は担架等で急病人の搬送しており、火災発生時の消火活動も同様の事態が発生する心配をしています。</p> <p>当地区は3つの小さい谷で分断されていますが、集落奥側を繋ぐ市道があります。現在は未舗装で轍も深くなり軽トラックでの通行も難しい状況となっています。さらにはインシが路肩や側溝を掘り返し、敷設されたベンチフリュームやヒューム管までを掘り起し、全く機能していません。この道路の整備をお願いいたします。</p>	<p>①舗装につきましては、現地を確認して危険な箇所があれば補修を実施してまいります。</p> <p>側溝の整備については、地区の方と整備の方法を相談したいと考えています。</p> <p>②未舗装道路の整備については、原材料（生コン・簡易舗装）支給や道路整備地域支援事業、地域活力施設整備支援事業等を活用した整備についてもご検討ください。</p>	<p>建設課 道の管理：河端 30-7070</p>

要望内容	回答等	担当課及び 担当者
<p>「地域防災について」 当地区は、海に面しており避難所である自治会館は津波被害時は真っ先に被災してしまいます。住民は津波発生時に集落後方の山地に避難することになりますが、経路の市道には外灯もありません。 また、先にお願ひした迂回路は避難道路でもありますが未舗装の状況です。 津波発生時の避難対策として避難路の整備と避難後に必要となる資機材の保管庫等の整備について御検討をお願いいたします。</p>	<p>富山県が2月に公表しました津波シミュレーション調査結果を踏まえ、市では今年度津波避難計画を作成することとしています。その過程で津波避難困難区域を設定しますので、津波避難困難区域で津波経路の確保が必要となる場所が確認された場合には関係部署と調整し、今後の対策について検討していきます。</p>	<p>地域防災室： 小野 74-8021</p>

質問内容	回答等	担当課及び 担当者
<p>「防火水槽(自然水利用)の改修について」 廣瀬達夫宅奥側にある、消火用の自然水を貯水するため、山の斜面下にある溜め池を防火水槽として地元消防団が管理し、定期的に清掃及び放出試験を行っています。しかし、今年になり、水が放出できなくなり、放出管の劣化等による潰れ等が原因ではないかと考え、憂慮しています。 また、溜め池本体を包む岩盤の一部が崩落し、穴が開いています。水深は1m40cmもあり、崩壊すれば大量の水が市道を経て下流の住宅地に流れ出すことや人の転落も心配されます。</p>	<p>地区で管理している消防水利の改修については、地域活力施設整備支援事業の活用をご検討ください。</p>	<p>企画政策課 地域協働推進班：舩田 74-8013 警防課：正保 30-7112</p>

平成29年度要望書（泊地区自治会）

要望項目	対応内容	担当課
(継続)瀨開田地内、急傾斜箇所の補修工事の実施について	平成29年度において、落石防除対策の工事をする事としてしています。	建設課 道の管理担当：河端 30-7070
(継続)集中豪雨による被害防止対策工事の実施	排水処理の応急的な対策として上流部既設水路からの吸出し防止対策を予定しています。しかし、根本的な対策としては砂防事業の進捗を待つこととなりますので、砂防事業の再開について県へも働きかけていきます。	建設課 農林業基盤整備担当：南 30-7011

要望項目	対応内容	担当課
国道160号泊地内の急カーブ個所の改修について	国道160号の整備につきましては、7月5日に地元の方々で富山河川国道事務所へ要望いただき、ありがとうございました。市といたしましても、6月7日及び7月3日に富山河川国道事務所に、また8月4日には北陸地方整備局に要望しています。現在施工中の泊地区自転車歩行者道の整備促進のほか、連続雨量による通行規制の解除・緩和につながる防災事業の推進について、今後も引き続き国土交通省に要望してまいります。	建設課 能越道等事業調整・用地担当：高田 74-8091
(継続)急傾斜擁壁部の破損個所及び市道の崩落個所の改修について	県では、今年度から来年度にかけて急傾斜施設の点検を行ない、施設の健全度を調査します。調査の結果を基に、整備計画を作成して、優先度の高い箇所から計画的に補修工事を行っていくとのことです。	建設課 治水・治山担当：椋澤 30-7071

要望項目	対応内容	担当課
市道斜面(〇〇宅下)の崩落対策について	崩落した土砂の撤去は完了しました。根本的な対策については、現地を詳しく調査し、どのような対策が効果的か検討してまいります。	建設課 道の管理担当:河端 30-7070
浜谷宅裏の排水処理対策について	まずは、現在の排水系統に問題があると考えていますので、排水系統の見直しに向けて、浜谷さん及び地元の皆様と相談させていただきたいと考えています。	建設課 治水・治山担当:椋澤 30-7071

要望項目	対応内容	担当課
市道の補修、維持管理の早急な対応について(市道円山線の陥没、グレーチングの騒音対策)	ご要望の箇所は7月12日に対策の工事が完了しています。	建設課 道の管理担当:河端 30-7070
津波発生時の避難経路の確保について	富山県が2月に公表しました津波シミュレーション調査結果を踏まえ、市では今年度津波避難計画を作成することとしています。その過程で津波避難困難区域を抽出しますので、津波避難困難区域で津波退避経路の確保が必要となる場所が確認された場合には関係部署と調整し、今後の対策について検討していきます。	地域防災室:小野 74-8021

要望項目	対応内容	担当課
瀬間田地内市道の拡幅、急カーブ箇所の改修について	本路線は、これまでも局部的な拡幅改良を実施し、救急車等緊急車両が集落内に入ることが可能となりましたが、急な曲がり角など、未だ通行に支障をきたす箇所が存在します。その箇所には住居が連担し、拡幅改良による住居移転等のご理解と完成までの長い時間を要します。またご提案のバイパス案についても数多くの地権者のご理解が必要されることから、まずは地権者の方々のご了解の合意形成に向けての話し合いや道路拡幅等ハード整備に頼らない代替策等、自治会の皆様で検討する必要があると考えます。	建設課 市道整備担当：宮下 74-8074
除雪機と囑託人員の増員要請について	今年度から一部区間の除雪路線の見直しを行います。それに伴い、人員等の体制の見直しを行ってまいります。	建設課 道の管理担当：河端 30-7070

要望項目	対応内容	担当課
イノシシ被害防止対策の要請について	今年度のイノシシの捕獲は、現在、昨年度を上回り1100頭を超えておりますが、減少する様子がみられず、全国的にみても捕獲対策だけでは被害を減少させることはできていません。このことから、イノシシを集落に近づけない次の取り組みをお願いしています。 (1) 野生動物の餌となる放任果樹などの伐採や全量収穫管理、身を隠せる藪の刈払いをする。 (2) 電気柵などの侵入防止柵を適正に設置して管理し、野性動物に農作物を与えない。 捕獲檻については、各地区から要望が多く、今年度の新設は困難な状況であり、地区の捕獲状況も参考にして次年度に必要な捕獲檻の設置数を検討してまいります。	農林畜産課 農業畜産・いのしし等担当：高野 74-8086